

平成29年度  
自己評価結果

平安幼稚園

1. 教育・保育理念

子どもの幸せのため、子どもの権利条約（①生きる権利 ②育つ権利 ③守られる権利 ④参加する権利）を遵守し、人格主義の基本理念（誠実・忍耐・勤勉）と良心を育てる。

2. 教育方針

本園の教育は園児の言語（英語を含む）、情緒、行動、社会性および身体の調和的発達を助長し、望ましい人間形成を目指すものである。

3. 教育目標

- ①読み書きができる賢い子ども
- ②情緒が豊かで明るい子ども
- ③よく考え、進んで行動する子ども
- ④仲良く遊び、協力し合う子ども
- ⑤身体が丈夫で逞しい子ども

4. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画

- ①事業所内保育施設ひらやす保育園とはるゆめ保育園の連携強化
- ②園児一人一人の成長に沿った教育課程の充実
- ③地域に根ざした幼稚園のあり方

5. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	備考
(1) 建学の精神や教育、保育理念に基づいた幼稚園の運営状況	A	
(2) 幼稚園の状況を踏まえた教育目標等の設定状況	A	
(3) 幼稚園の教育課程の編成・実施の考えについての教職員間の共通理解の状況	B	
(4) 学校行事の管理・実施体制の状況	A	
(5) 年間の指導計画や週案などの作成の状況	A	
(6) 遊具・用具の活用	B	
(7) ティーム保育などにおける教員間の協力的な指導の状況	B	
(8) 幼児に適した環境に整備されているかなど、クラス経営の状況	B	
(9) 幼稚園教育要領の内容に沿った幼児の発達に即した指導の状況		
・環境を通して行う幼稚園教育の実施の状況	B	
・幼児との信頼関係の構築の状況	A	
・幼児の主体的な活動の尊重	C	

・遊びを通しての総合的な指導の状況	C	
・一人一人の発達の特성에応じた指導の状況	A	
(10) 日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断の実施の状況	A	
(11) 事故等の緊急事態発生時の対応の状況	A	
(12) 法定の学校安全計画や学校防災計画等の作成・実施の状況	A	
(13) 危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
(14) 安全点検や、教職員の安全対応能力の向上を図るための取組の状況	A	
(15) 個別の指導計画の作成の状況	B	
(16) 家庭との連携状況	A	
(17) 園長など管理職の教育目標等の達成に向けたリーダーシップの状況、 また、多くの教職員からの信頼の状況	A	
(18) 校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、幼稚園の明確な 運営・責任体制の整備の状況	A	
(19) 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理の状況、 また、教職員への情報の取り扱い方針の周知の状況	A	
(20) 学校保健法、労働基準法等の各種法令の遵守状況	A	
(21) 保育研究の継続的实施など、指導改善の取組の状況	A	
(22) 園内における研修の実施体制の状況	A	
(23) 園内研修の課題の設定の状況	B	
(24) 園内研修・園外研修の実施・参加状況	A	
(25) 指導が不適切である教員の状況の把握と対応の状況	A	
(26) 教育目標の設定と自己評価の実施状況	A	
・幼児や幼稚園の実態、保護者の意見要望等を踏まえた幼稚園としての 目標等の設定の状況	A	
・目標等を踏まえた自己評価の項目の設定状況	A	
・自己評価が年に1回以上定期的に実施されているかなどの実施状況	A	
・自己評価の結果の翌年度の目標等の改善への活用状況	A	
・全職員が評価に関与しているかなどの体制の状況	A	

・自己評価の結果の設置者への報告と状況	A	
(27) 幼稚園に対する保護者の意見・要望等の状況 ・保護者の満足度の把握の状況 ・教育相談体制の整備状況、保護者の意見や要望の把握・対応状況	B	
(28) 幼稚園に関する様々な情報の提供状況	A	
(29) 幼稚園公開の実施の状況	A	
(30) 幼児の個人情報の保護の状況	A	
(31) 学校評価結果の公表状況	A	
(32) 園便りやクラス便りの発行など、主として保護者を対象とした情報の提供状況	A	
(33) 情報提供手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫の状況	A	
(34) 保護者の実情や要望による幼稚園の子育て支援活動の実施状況	A	
(35) 園や教職員による受け入れ体制の状況	A	
(36) 幼稚園の目的、教育課程との関連、幼児の負担、家庭との連携等への配慮	A	
(37) 施設設備 ・施設設備の活用状況 ・設置者と連携した施設・設備の安全・維持管理のための整備の状況 ・設置者と連携した幼稚園教育の情報化の状況	A	
(38) 遊具・用具・図書等 ・設置者と連携した遊具・用具・図書等の整備状況 ・設置者と連携した保育環境の充実のための取組状況	A	

## 6. 本年度に定めた重点的に取り組む事が必要な目標や計画の考察

結 果	理 由
A	<p>① 認定こども園としての園児、保護者の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園に移行して初年度ということもあり、保護者の問い合わせも多くあったが、その都度市町村と連携をとり丁寧に対応していた。各市町村とも協力体制を深めることで、よりよい保育と保護者支援の充実を図ることが出来たと思う。</li> </ul> <p>② 園内環境を活かした保育・教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事や運動会、夕涼み会、お遊戯会、音楽発表会の各行事を通して様々な経験をし、協調性や達成感を味わい園児一人ひとりが成長することが出来たように感じる。</li> <li>・広い園庭があり、日頃から伸びのびと自由に遊んでいる姿が見られますが、花壇を利用し園児が植物を栽培する機会がなかったように感じる。今後は、園内にある動植物に積極的に触れ合い、季節によって栽培や収穫する喜びを感じたり、命の尊さを感じる取り組みをしていきたい。</li> </ul> <p>③ 職員の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員で様々な研修を受け、学んできた知識を全職員で共通理解し、日々の保育の中で活かすことが出来た。</li> <li>・クラス担任だけでなく、全職員が同じ気持ちで園児一人ひとり理解し、個に応じた対応が出来た。</li> </ul>

## 7. 総合的な評価結果

- ・認定こども園になり、以前より保護者のニーズに応えることができ、よりよい保育が出来た。
- ・職員が研修を充実させることで、園児の特性に合わせた保育や対応がより出来るようになった。
- ・今後は、園独自の教育課程での取り組みを充実させ、子ども達が主体的に活動できる環境構成を行いたい。

## 8. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園児一人一人の発達に合わせた教育・保育の充実	全職員で園児の園生活を見守りつつ、巡回指導員や行政と連携を取りながら卒園後の育ちを見据えた教育・保育を心がける。
職員の資質向上のための研修の充実	行政、各保育・教育団体の開催する研修会に積極的に参加し、全職員に研修内容を伝えていく。又園内研修を定期的に行い、園独自の課題解決に向けて職員の資質を向上させるよう努めていく。

◎「4. 5」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である